

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 767 号  
2025年 5月 1日  
発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

## 「相互関税」に関するトランプ大統領演説

(要旨抜粋)

トランプ米大統領が4月2日に公表した「相互関税」に関する要旨は次の通り。

### 【歴史的意義】

米国民の同胞たちよ、今日は「解放の日」だ。2025年4月2日は、米国の産業が生まれ変わった日、米国が宿命を取り戻した日、米国を再び裕福にするために我々が動き始めた日として永遠に記録されるだろう。

我々の国家は何十年にもわたり、距離や敵味方にかかわらず、あらゆる国家により略奪、凌辱されてきた。我が国と納税者たちは50年以上にもわたってぼったくられてきた。この心配はもうない。

歴史的な大統領令に署名する。相互関税だ。「やられたらやり返す」ということだ。これ以上単純なことはない。

今日は米国市場、最も重要な日の一つになると思う。我々の「経済的独立宣言」だ。繁栄するときが来た。(関税で得た)何兆ドルもの資金を使い、迅速に減税を進め、政府債務も減らす。やっと米国を再び偉大にすることができる。

### 【対米関税を批判】

米国は何十年にもわたり、他国との貿易障壁を切り崩してきたが、こうした国々は我々の製品に多大なる関税を課し、我々の産業を破壊するために言語道断な非関税障壁を設けた。

為替を操作し、輸出品に補助金を出し、知的財産を盗み、過剰な付加価値税(VAT)を課し、我々の製品が不利になるよう不公平な規則を設けた。米国はこれまで反応を示さなかったが、そうした日々は終わる。

こうした悪質な攻撃の例を挙げよう。

米国は外国製のオートバイに2.4%の関税しかかけていない。しかし、タイは60%と高い関税を課し、インドは70%、ベトナムは75%も課す。それ以上高い国もある。

### 【自動車】

同様に、米国は外国製の自動車に2.5%の関税を課していた。欧州連合(EU)は我々に10%の関税を要求し、20%のVATも上乗せする。

韓国や日本などが課してきた非課税障壁は特にひどい。日本国内の自動車のうち94%は日本製だ。しかしトヨタは外国製の自動車100万台以上を米国に売り

つける。我々の企業は他国への進出を許されていない。

敵も味方も同じだ。味方のほうがひどいケースもある。こうした不均衡は我々の産業基盤を破壊し、我が国の安全保障を脅かす。こうした国々を責めるつもりはない。こうした事態を許容し、仕事を怠った過去の大統領たちを責める。

そこで、深夜(米東部時間4月3日午前0時1分)から、すべての外国製の自動車に25%の(追加)関税をかける。

### 【日本】

我々の友である日本は(米国産のコメに)700%の関税をかけている。我々にコメを売ってほしくないからだ。誰も責めることはできない。

日本はとてつもなくタフで、国民も素晴らしい。彼らを責めない。とても賢いことだ。彼らは46%(の関税)をかけている。自動車など特定の製品はさらに高い。彼らには24%の支払いを要求する。

### 【米国を裕福に】

我々は、他国が200%、300%、400%の関税を設ける品目に対し、2.8%の関税しか課していない。関税や保護主義的な障壁が国家を貧しくするのであれば、地球上すべての国家が迅速にこうした政策を撤回するだろう。

米国は1789年から1913年にかけて、関税に支えられた。最も豊かだった期間だ。金が腐るほどあった。

しかし、信じられないことに、外国ではなく国民を財源とする所得税を1913年に設けた。そして(繁栄は)29年の大恐慌によって幕を閉じた。我々はより賢くなり、再び裕福になれる。信じられないほどに。

大恐慌から1世紀近くたち、米国は経済戦争に直面している。カナダ、メキシコ、その他多数の国家の赤字を補助し続けるわけにはいかない。世界中の国の面倒を見てきた。我々は彼らの軍事費を払う。彼らが払うべきものを、払っている。残念ながら、自国民を優先しなければならない。

今日は米国解放の日だ。数年後に、あなたが「彼は間違っていなかった。我が国にとって、あの日は最も重要な日の一つだった」と振り返ることを期待している。

(日本経済新聞4月4日付記事より)

## アルミニウム二次合金・同二次地金需要見通し 令和7年度 1.3%増予測

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は、このほど令和6年度のアルミニウム二次合金・同二次地金の需要実績見込みと、令和7年度の同需要見通しを発表した。

日本経済は、緩やかに回復を続けているとされ、成長と分配の好循環が動き始めています。このような経済環境の中で、令和6年度は当アルミニウム合金業界においては、主力となる我が国の自動車メーカーの生産が停滞し、自動車向け鋳物・ダイカスト需要が減少しました。

令和6年度アルミニウム合金地金・同二次地金需要は、1,482,500トン（対前年度比96.1%）と2年ぶりの150万トン割れが予想されます。

今後の我が国自動車メーカーの生産の持ち直し等を見越し、令和7年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定しました。

(1) 鋳物・ダイカスト向けの二次合金地金需要については、国内の自動車生産の回復により、増加が見込まれる。

(2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、横ばいが見込まれる。

(3) 鉄鋼向け二次合金地金・二次地金需要については、横ばいが見込まれる。

以上の状況から、令和7年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、1,502,300トン（対前年度比101.3%）と策定しました。

また、令和7年度の鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、267,200トン（対前年度比102.1%）が予想されます。

尚、以上の予測は米関税の影響は織り込まずに集計しました。

### 令和7年度アルミニウム二次合金・同二次地金需要見通し

（単位：トン）

項目	令和5年度	令和6年度実績		令和7年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鋳物	325,464	315,300	96.9	319,300	101.3
ダイカスト	925,820	877,500	94.8	893,000	101.8
圧延	191,827	193,600	100.9	193,600	100.0
鉄鋼・その他	98,900	96,100	97.2	96,400	100.3
計	1,542,011	1,482,500	96.1	1,502,300	101.3

（注1）輸入地金を含む。

（注2）鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

### 令和7年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

（単位：トン）

項目	令和5年度	令和6年度実績		令和7年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鋳物	179,736	169,700	94.4	173,500	102.2
ダイカスト	91,550	91,900	100.4	93,700	102.0
計	271,286	261,600	96.4	267,200	102.1

（注1）輸入地金を含む。

## アルミ需要365万トン予測

一般社団法人日本アルミニウム協会の石原美幸会長（UACJ会長）は3月31日の記者会見で、米トランプ政権の関税措置について、「アルミへの関税措置は、自動車に使用されるアルミ素材の使用料に応じて課せられるため、影響が出る可能性はあるが、現状では不

透明。」との見方を示しました。

米関税の影響を織り込まずに集計した25年度のアルミ製品の総需要は、前年度比0.3%増の365万7千トンと4年ぶりにプラスに転じると予測。

（単位：トン %）

	2024年見込み	2025年見通し	25/24
圧延品	1,673,486	1,674,500	0.1
鋳造品	366,300	369,000	0.7
ダイカスト	891,400	898,700	0.8
鍛造品	65,800	66,200	0.6
電線	24,000	25,000	4.2
鉄鋼	96,500	96,500	0.0
その他	61,100	61,100	0.0
輸入	465,500	465,500	0.0
総需要	3,644,086	3,656,500	0.3



### 日本商工会議所 役員・議員永年勤続表彰

3月27日開催の西尾商工会議所通常議員総会の席上で、天野卓社長は日本商工会議所より、役員・議員永年勤続表彰（20年以上）を受けました。天野卓社長は2004年より常議員を務めており、2013年～2022年の9年間は副会頭を務めました。

## 西尾茶

矢作川の下流台地は、水はげが良く地味が肥えて茶の木の育成に最適とされています。

新芽は太陽光を遮蔽されておだやかに育ち高級茶に加工されます。「西尾の抹茶」は日本有数の生産量を誇り、特許庁の地域ブランドに認定されました。

毎年この季節に茶葉クラブのメンバーが古式豊かな茶摘み行事を披露します。



## 社内情報

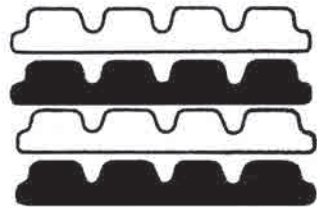
- ◎種から育てた苗木を南側緑地帯に植えました。ビワの木とミカンの木。さて、どんな実がなるのか楽しみです。
- ◎4月末で決算棚卸しを行いました。原料納入業者と運送関係の皆様へたいそうご無理をお願い致しました。
- ◎お陰様で、順調に棚卸しが終わりました。ご協力に厚くお礼申し上げます。

## 編集後記

- 1頁に「相互関税」に関するトランプ大統領の演説を掲載しました。
- この方針に従って、2国間貿易協議が開始されます。
- または、世界的「関税掛け合い合戦」による大混乱。
- トランプ氏の高学歴者に対する劣等感？有識者に対する恐怖感か？有名大学への助成金支出見直し。
- イスラエル・パレスチナ問題、ロシア・ウクライナ問題の仲介はもう煩わしくなってきたのかも。

## アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

## アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>